

「土のはなし」

建設環境工学科教官
森田年一

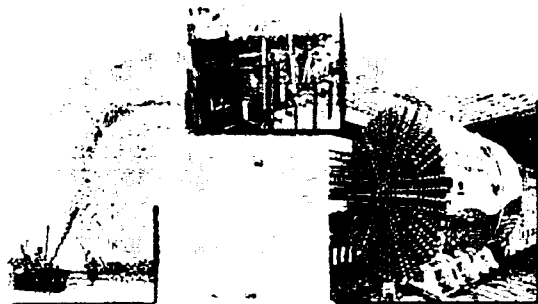
私たちにとって、「土」は、とても身近な存在です。私たちが、ふだん生活している家・校舎などの建築物、その他、橋・道路・駅・空港・港湾などの土木構造物もすべて土の上に建っています。言い方を換えれば、土に支えられていると言ってもよいでしょう。そういう意味では、何より私たち自身が、土に支えられていることになります。また、生活に欠かせない農作物や、その他のさまざまな植物も根を土におろしています。土は、私たちの暮らしにおいて必要不可欠なものと言えます。ところが、一方、地滑りや山崩れ、地震時の液状化などの災害では、土は悪役を演じます。土はこのように、私たちの生活と深い関わり合いをもっているが、その素性については、意外と知られていないように思われます。

・大雨が降ると、なぜ、崖崩れが起こるのだろうか？

・霜柱は、どんな仕組みでできるのだろうか？
・モグラの穴は、なぜ、つぶれないのだろうか？

ふだんの生活のなかで何気なく感じるこのような素朴な疑問に対して、わかりやすく、またおもしろおかしく解説しているのが本書です。本書では、土の重さ・強さ・色など土そのものの特性の解説、新幹線や地下鉄・高速道路・超高層ビルなどの構造物と土との関わり、地震の際の揺れの伝わり方などが項目ごとに書かれてあります。したがって、1ページ目から順を追って読んでいく必要はありません。目次を見て、

興味を持ったところだけ読んで也十分に理解できる本です。そういった意味でも、とても読みやすい本ですので、ぜひ、一度、読んでみてください。



・土のはなし I

地盤工学会 土のはなし編集グループ編
技報堂出版 210 頁 ISBN: 4-7655-1414-5

「土のはなし」シリーズ

・土のはなし II

地盤工学会土のはなし編集グループ編
ISBN: 4-7655-1415-3

・土のはなし III

地盤工学会土のはなし編集グループ編
ISBN: 4-7655-1416-1

読んで欲しい本

一般教科教官 (数学)

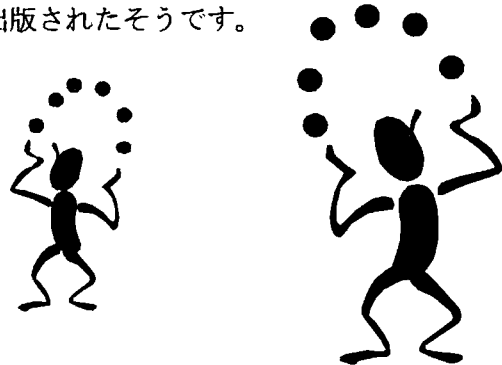
末竹 千博

福島高専に赴任して約3カ月経ちましたが、最近では私自身本を読まなくなって、これはまずいなと思うこの頃です。前の職場では、電車で通勤していたので、通勤時間が読書の時間でした。読書は、自分の知らないものを持った優れた人たちとの対話の場だと思っています。

さて、昔は人と付き合うのが嫌で数学を専攻した人たちが多かったようですが、近年はマスコミでも活躍しているユニークな数学者も何人かいます。数学の研究に邁進せず、軽すぎるという批判もあるようですが、数学を多くの人たちに親しみ深いものとして宣伝されていることは、それはそれとして大変価値のあることだと思います。そういう数学者が書いた本を私の体験も交えながら紹介したいと思います。

1985年だったと思いますが、大阪大学で有限群論と有限幾何学の小研究会があり、そこで私の最初の論文の内容を話させてもらったことがあります。この研究会に2人の外国人数学者が参加していました。大柄な人が、有限幾何学の分野で奇才として知られているオレゴン大学の W. M. Kantor で、小柄な人がピーター・フランクルでした。この後者の数学者については、多くの方がテレビ、彼の著作を通して知っておられることと思います。現在では、12カ国語をしゃべることの出来る語学の天才としても有名です。語学が苦手な私にとっては、彼の著作は魅力的です。「ピーター流外国語習得術」という高校生向けに書かれた本(岩波ジュニア新書)も読みましたが、やはり上達しません。コツコツ続けられないからでしょう。彼は、ハンガリー生

まれで、共産主義が嫌でフランスに亡命し、日本には1988年から住んでいます。現在は早稲田大学の数学教授だそうです。彼の哲学は「人の財産は頭と心だけ」だそうです。この哲学は彼がユダヤ人として色々と苦労した体験からきているようです。ですから、彼は独身です。結婚してしまうと、美しい女性を見ても心を動かしてはいけなからそうです。女性が好きだから、結婚しないのだとどこかに書いていました。おそらく、お金とか家土地については、あまり興味がないでしょう。福島高専の学生に薦めたい本は「ピーター流らくらく学習術」(岩波ジュニア新書)です。学習は工夫次第で楽しく効率よく出来るということが、具体例を沢山あげて書かれています。「数学放浪記」(晶文社)も面白く読んだ記憶があります。最近、旅行について書かれて本も出版されたそうです。



ピーター・フランクル著

・ピーター流らくらく学習術

(岩波ジュニア新書 293 194頁)

ISBN4-00-500293-5 C0241

・数学放浪記

(晶文社 334頁) ISBN: 4794960409

「木を植えた男」

電気工学科教官
濱崎真一

私の紹介したい本というのは、絵本です。この本は非常に有名なので読んだ方がいるかとは思いますが、あえて紹介させていただきます。なぜなら私自身、この本を読み返す度に失いかけた“ある気持ち”を奮起させられるからです。

この「木を植えた男」という話は、ジャン・ジオノという名のフランスの作家が書いたフランス南東部プロヴァンス地方の荒野での一人の男の物語です。

ある旅人が無人の丘陵地帯を歩いているところから話は始まります。そこは風が絶え間なく吹き、またそれを妨げる何もなく照り返しの強い乾燥した土地で、旅人は水を求めて彷徨っていました。そうしているうちに一人の初老の羊飼いに会うことになるのです。旅人は水を分けてもらおうと、一泊の宿を願い出ます。羊飼いはそれを受け入れ、自分の小屋に旅人を迎え入れるのですが、その後その羊飼いは、部屋の中でただただ黙々とドングリの選定をしていたのです。

翌朝、羊飼いは親指ほどの太さの鉄の棒を持って丘陵に向う様子を見て、旅人はその後についていきます。羊飼いはある場所まで歩く度に鉄棒を地面に突き刺し、そうして作った穴にドングリを一つ入れ土でふさぐという作業を丁寧に繰り返していました。つまり種をまいていたのです。旅人は羊飼いに礼をその場をさりました。

数年後、この地に再び旅人が訪れた時に、かの地は驚くべき変貌を遂げていました。木々が生い茂り、生命感のあふれる土地と変わっていたのです。あの羊飼いはいまだ存命で、新しい事に挑戦しつつありました。

と、内容はここまでにしておきましょう。あまり詳しく説明してしまうと、作品に対して私自身の言葉が無粋なものになってしまいますから。

ただこの物語を読むと、たった一人の人間の力といえどもばかにしたのではなく、例え小さな事であろうと、積み重ねることにより大きなものを生み出す力があるということのを再認識させられます。また例えば何かを変革させたいのなら、寡黙で強い意志を持った私欲のない行為を持続させる事が大事だと感じられるのです。

この本の冒頭に書いてある文章です。

「人々のことをひろく思いやる、優れた人格者の行いは、長い年月をかけて見定めて、はじめてそれとされるもの。名誉や報酬を求めない、まことおゆかしいその行いは、いつか必ず、みるも確かな証を、地上にしるし、のちの世の人々にあまねく恵みを施すもの」

この物語を読む度に私は、大言を吐いたり(偉そうな事を言う)、虚栄心(見栄を張る)を持つことなく、自分に実直に出来る限りの事はしてみようと思うのです。

なおこの物語は映画化されており、DVD「フレデリック・バック作品集」の中に収録されています。



ジャン・ジオノ原作、

フレデリック・バック絵

あすなろ書房 ISBN4-7515-1431-8

「都市の文化」

建設環境工学科教官
斉藤充弘

なんとも難しい時代である。これはあらゆる方面においていえることであるが、私たちが毎日活動している場である都市をつくるという観点においても、なんとも、なんとも厳しく、難しい時代を迎えている。

これまでの都市づくりを紐解いてみると、「戦争に勝つ」ということや「一生懸命働いて裕福な生活を・・・」といった軍事や経済成長という、皆に共通の目標をもった人々が活動する空間であったため、一直線の広い道路と工場をはじめとする生産活動を行う場の形成を中心に都市が形作られてきた。しかしながら近年、都市に住む人々の価値観は多様化し、脱サラをして農業を始めたり、また定年退職後に大学・大学院へ入学して勉強したりする人々、卒業後に就職せずにフリーター生活を選択する若者にみるように、自分の生き方を追求したさまざまなライフスタイルが見受けられる。都市空間を覗いてみても、便利で綺麗なコンクリート造りの近代的な建物の片隅に、これまではどちらかというと蔑ろにされてきた水や緑を人工的に配置する小空間や、自動車運転者には快適な幅の広い道路を横断するのに苦勞しているお年寄りの姿が見受けられる。モノの豊かさから心の豊かさへと都市で生活することの目標が大きく変わった現在、どのようなまちが求められており、どんなモノを中心に、また何を目標に都市づくりを進めていくべきなのか。

ルイス・マンフォードはこの「都市の文化」において、その解答となるべき事柄をいくつか提示している。彼は、最良の教科書である実際の都市を隅々まで歩き回り、

観察し、書き留めたその構成要素を体系的に整理し、特に人間やそれを取り巻く社会を念頭に置いた都市のあり方を提唱している。それは「コミュニティの権力と文化の最大の集中点」、「時間の産物」、「自然の中の一事実」・・・といった都市の捉え方にみることができる。

この原書が出版されたのは、1938年と半世紀以上も遡る。戦争時代であり、工業化に邁進中の時代にあつては、人間や社会を中心に置いた視点からの都市論は、時代遅れとされたという。それが今では、あらゆる方面から光が当てられ、「現代版のマンフォードになりたい・・・」と密かに志している者は私だけではないであろう・・・。

英文原書からの翻訳本であり、また500ページにわたる大作であるため、楽に読むことのできる本とはいえない。しかしながら、読み込んだあとの達成感と感動は何倍にもなるものであり、都市づくりに携わろうとする人にはぜひ読み込んでほしい一冊である。

ルイス・マンフォード著／生田勉訳
鹿島出版会(1974)

ISDN: 430607093X



『本を読むということ』

建設環境工学科教官
菊池卓郎

私たちが生きていくなかで、自分自身が経験できる事というものはどうしても限られている。しかも毎日の生活の中に埋もれてしまうような、日常的な事が多い。本を読むという行為は他者の経験から、言葉を通して、間接的ではあるが、疑似体験という形で様々なことを学ぶことができる。他者の経験に触れ、自分自身の世界を拓げていくことができるのである。

私は本を読むことによってたくさんを知ることができた。それは一生続くであろう。知識というものは明らかに私にとって幸せなことである。本の読み方は、特定のジャンルがあるわけではなく、ふと手にした本を読む。そうして得た何気ない知識が、意外なときに役立つこともあるのだから、不思議である。

私が本を読むという行為に求めることは、知識の蓄積だけではない。私の人生において大切なことは「知的好奇心」を刺激する楽しさを感じるということである。知的好奇心を刺激する本に出会うということは本当に幸せなことである。一冊の本から刺激された好奇心が、さらにもう二冊、三冊と要求してくる。この楽しさを知ると、本を読むという行為が幸せになるのだと考えている。

世間一般に「良書」と呼ばれる本がある。その中には何か手に取りがたい本もあるだろう。しかし、そんなに難しく考える必要がなく良書の判断基準はあくまでも自分である。自分にとって良いと思ったものが良書だと考えている。自薦、他薦など関係なく、自分で興味を持って、読むことによって、知的好奇心が刺激されれば、それが良書だと考えている。それがきっかけとなり、読書の幅や一つのテーマに対する深い探究心が生まれてくる。

自分が興味のあること、面白いと思うことから、まずは読むという行為をしてみよう。どんなジャンルだって構わない、ふと手にした一冊を読んでみよう。そしていつの間にか知的好奇心を刺激する楽しさを感じられるだろう。

結局は「本を読もう、たくさん読もう」である。



～図書の利用～

借りる時 借りたい本と学生証をカウンターに提出します。

普通貸出：3冊まで、2週間以内に返却して下さい。

卒研貸出：5冊まで、1ヶ月間以内に返却する事になっています。

(5年生のみ、指導教官の確認が必要)

返す時 借りていた本をカウンターへ提出します。(学生証は必要ありません)

閉館時は ブックポストへ入れてください。

経営がみえる会計

コミュニケーション情報学科教官
加藤 恵吉

会計学は大学の文系学科における科目または商業高校におけるカリキュラムに設置される科目ですが、工学系の方にとっても重要な科目です。それは、みなさんが将来、折角良い製品を開発してもその製品をいったいどの位の価格で売ればいいのか、つまりその製品が常にどの位の原価で安定製造可能だとかという知識がなければ、会社にその製品の商品化を提案しても許可はおりにくいと考えられるからです。会計学においてこのような製品の価格に焦点をおき原価を確定させていくような分野は、工業簿記、原価計算、管理会計といわれるような分野になります。しかしながら、会計学の勉強方法としては商業簿記の3級から始まってとかプロセスがあるので途中でいやになってしまいます。

そのため、今回は、面倒な会計処理の方法や理論を省いて難なく会計の仕組みがわかるような本をご紹介します。

また、簿記を学校等にいかないで自習したいと思っている方にはコミュニケーション情報学科で使用しているテキスト

「とおるテキスト日商簿記3級」

「とおるテキスト日商簿記2級工業簿記」

「とおるテキスト日商簿記2級商業簿記」TAC出版 があることも付記しておきます。

実学入門 経営がみえる会計 田中靖浩

日本経済新聞社 228頁 ISBN4-532-14725-5 C3034

日商簿記3級とおるテキスト

TAC出版 166頁 ISBN: 4813206069

日商簿記2級とおるテキスト 工業簿記

TAC出版 226頁 ISBN: 4813206107

日商簿記2級とおるテキスト 商業簿記

TAC出版 184頁 ISBN: 4813206085



～図書の利用～

貸出期限を守ってください。

- ・返却期限を越えた図書はすぐに戻して下さい。
- ・カウンターで貸出延長の手続きも取れます。
- ・次に利用する人のことも考えて、本にも人に優しく利用して下さい。

私の幸福論』

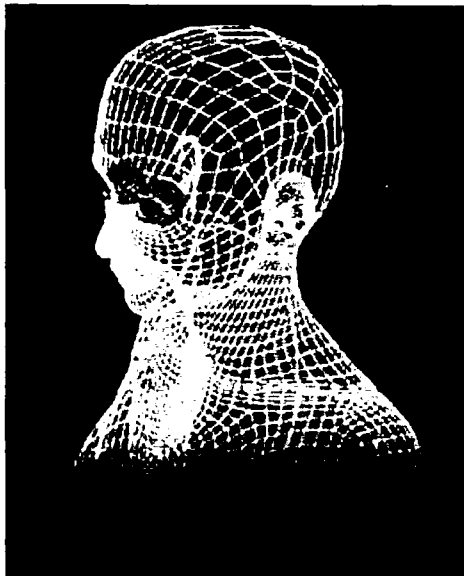
一般教科教官（社会）

木原 淳

本書は幸福を考える上で往々に誤る思考を俎上に上げている。一つは人間平等であり、自分も幸福に与る権利があるという思考、もう一つは重視されるべきは外形でなく中身だ、という内面優位の思考である。この二つが組み合わさり、それによって現代人はかえって不幸になっていると著者はみる。内面が重要だ、という思考は現代の私たちの心を深くとらえ、公論を支配する建前論として機能している。しかし（顔つきから、服装、歩き方、話し方など様々な意味で）外形は重要であり、それを内面と切り離すことは本来不可能なのである。恋愛において人はだまされた、という言葉をつくが、厳密にはだまされるのではない、自分の方でみるべき相手の外形を見ていなかったから、にすぎない。人を見ることは茶碗をみるのと同様で、形は悪いが中身はよい、といったことはありえない、というのが著者の見方なのである。むろん人は努力によって内面を変えることが可能である

のと同様に外形を変えることはできる。また外形を変えることが困難であるのと同様に内面を変えることも困難なのである。それだけに私たちは自分を変えようとする精進の重要性を知ると同時に、肉体精神を問わず親からの遺伝的性質、環境といったどうにもならない宿命を認めねばならない。この負の宿命を無理に克服したり、代替物を得ようとじたばたせず、素直に受け入れること、これが不幸な精神に陥らないためのもう一つの点である。

自由・平等の世界に生きる私たちは、幸福そうに見える他人への嫉妬感情から社会の不条理を断罪し、平等実現の必要を安易に語るができる。だがそうした幼い正義感は容易に挫かれ、人はひねくれたり、あるいは「逆境をバネにして」猛烈な努力の結果成功を収めたりもする。しかしこれはどちらも外的条件にとらわれた結果もたらされた不幸な精神状態でありうる。ひねくれが不幸であることはいうまでもないが、逆境をバネにした成功も、冷たく頑なな成功者を生み出す。こうした人が社会の指導者になれば国民は不幸であろう（独裁者はしばしば猛烈な努力でコンプレックスを克服した人格である）。これはどちらも外的条件を受け入れられずに生まれる不幸である。自分を受け入れることの重要性、社会と自分との距離の置き方を教えてくれる書物である。



私の幸福論 ちくま文庫 福田 恒存
筑摩書房 234 頁 ISBN: 4480034161

図解！最新スポーツトレーニング

電気工学科教官
三浦靖一郎

福島高専へ赴任する前、私の活動拠点は、主に大学の研究室でした。室内での活動がほとんどだったため、私は運動不足になり、大幅な体重増を招いてしまいました。（私だけでなく、ほとんどの人に体重増の傾向が見られたので、仲間内では「研究室太り」と呼んでいました。）そこで、福島に赴いたことを機に、この現状を改善すべく、私は運動をはじめることになりました。その際、効率よく運動するためにスポーツ科学に関する本を参考にしましたので、そのうちの1つである「図解！最新スポーツトレーニング」を紹介します。

“スポーツ科学”は、我々のようなアマチュアには無縁で、プロスポーツ選手のためのものだと思われがちですが、実は「からだにとってスポーツがなぜ重要なのかを問い直し、私たちの日常生活とスポーツの新しい関係を示すこと」がその目的となっています。“スポーツ科学”の目的から、年齢、性別を問わず、様々な個人の資質を安全に向上するように考え出された最新トレーニング理論に焦点を合わせたものが、この本なのです。その内容は、以下の6つのパートに分けていますが、どこから読みはじめても特に問題ありません。

パート1：トレーニング・シェイプアップのウソ？ホント？

（運動に関するウワサは本当？）

パート2：マフエトン理論でスポーツするカラダのベースを築く

（故障やケガを未然に防ぐため、基礎体力を効率的に向上する理論）

パート3：最先端トレーニング法「初動負荷理論」

（野球のイチロー選手やサッカーのカズ選手が採り入れている理論）

パート4：トップアスリートのトレーニングを盗め！

（サッカーの秋田選手と格闘家ヒクソン選手へのインタビュー）

パート5：ウエイトトレーニングでしなやかな筋肉をつける

（筋肉・筋力についての知識と約30種のトレーニング方法）

パート6：スポーツするからだのいたわり方

スポーツが盛んな福島高専のみなさんにとって、「体重増」は想像しがたいと思います。しかし、就職や進学などで運動をやめてしまうと、気づかないうちにそうなってしまう可能性がありますので気をつけて下さい。もし増えてしまった場合は、「そういえば・・・」とこの記事を思い出して、改善の参考にさせていただければうれしく思います。

最後に、みなさんにとって読みやすいと思われるスポーツや健康に関わる本を挙げておきます。これらの本は、私の研究室にも置いてありますので、興味のある人はご来室下さい。

「スポーツ科学・入門」 別冊宝島編集部編 宝島社文庫 600円

「スポーツ科学バイブル」 高畑好秀 総監修 池田書店 1,200円

「ビタミンバイブル」 アール・ミンデル 著 小学館 1,260円



図解！最新スポーツトレーニング 別冊宝島編集部（編集） 宝島社文庫

宝島社 251頁；ISBN: 4796620877 600円

学生に勧める本

コミュニケーション情報学科 (教官)

野口 幸雄

学生時代の講義、自習、研究、会社での研究開発、趣味で読んだ本、産学連携に関する本、授業・卒業研究で使用している本の代表例を以下に紹介する。ほとんどが大学レベルの内容であるが、いずれも分かりやすく書かれていて、本学の学生の現在と将来において有用のみでなく、先生と職員の皆様にも参考になると思われる。

1. 学生時代に読んだ本

1.1 数学

(1)小松勇作, 早川康かず, 基礎工業数学講座 2「微分積分学」, 朝倉書店, (2)遠山啓, 「代数学及幾何学」, 「代数学演習」, 廣川書店, (3)Louis A. Pipes, Applied Mathematics for Engineers and Physicists, International Student Editon, Mcgraw-Hill, Kogakusha, (4)矢野健太郎・石原繁, 大学演習「解析学概論」, 「ベクトル解析」, 裳華房, (5)矢野健太郎, 「線形代数」, 日本評論社を挙げる。(1), (2)は, 要点がよくまとまっていて例題が多く分かりやすい。(3)の英語の本は, 懇切丁寧に説明していて, 英語も学べるので有用である。(4)は, 要点がよくまとまっていて, 例題, 演習問題が多く自習に適している。(5)は, ベクトルと行列の話をも具体的な, 初等的なところから始めて, のちに, 大学程度の線形空間の議論に入っているのが分かりやすい(最近, 購入)。

1.2 物理

(6)金原寿郎編, 「基礎物理学(上巻, 下巻)」, 裳華房, (7)高橋秀俊, 物理学選書「電磁気学」, 大学演習「回路」, 裳華房, 「数理と現象」, 岩波書店, (8)山内恭彦・末岡清市編, 大学演習「力学」, 裳華房, (9)久保亮五編, 大学演習「熱学・統計力学」, 裳華房, (10)霜田光一・近角聡信編, 大学演習「電磁気学」, 裳華房, (11)ロゲルギスト, 「物理の散歩道(第一～五集)」, 岩波書店, 「新物理の散歩道(第一～五集)」, 中央公論社を挙げる。(7)の参考

書, 演習書は自習に適している。「数理と現象」は, 現象の説明がすばらしい。(8), (9), (10)の演習書も自習に適している。(11)は, 数人の物理学者が身近な現象について議論, 考察し, 科学の面白さを示している点で貴重である。

1.3 化学

(12)Linus Pauling 著, 関集三・千原秀昭・桐山良一訳, 「一般化学(上, 下)」, 岩波書店である。(12)は化学の基礎理論を簡潔に説明している。

2. 研究分野(機械工学, 制御工学, 情報科学)と趣味に関する本

(13)川上正光, エンジニアリング・サイエンス講座 1「工学と独創」, 共立出版, (14)森康夫・土方邦夫, エンジニアリング・サイエンス講座 13, 14「流れと熱の工学 I, II」, 共立出版, (15)谷下市松, 大学演習「工業熱力学」, 裳華房, (16)小竹進・土方邦夫, 「パソコンで解く熱と流れ」, 丸善, (17)小竹進, 「熱流体の分子動力学」, 丸善, (18)矢川元基, 有限要素法の基礎と応用シリーズ 8 巻「流れと熱伝導の有限要素法入門」, 培風館, (19)日野幹雄, 「流体力学」, 朝倉書店, (20)Theodore von Karman 著, 谷一郎訳, 「飛行の理論」, 岩波書店, (21)佐貫亦男, 「ドイツ MADE IN GERMANY の旅」, 「ドイツの街一道具と心」, 光人社, 「設計からの発想」, 講談社, 「発想のモザイク」, 中央公論社, 「発想の航空史」, 朝日新聞社, 他, (22)村上敬宜, 「弾性力学」, 養賢堂, (23)益田森治・室田忠雄, 「工業塑性力学」, 養賢堂, (24)日本鋼構造協会編, 「コンピュータによる構造工学講座(全 11 巻)」, 培風館, (25)日本塑性加工学会編, 「もの作り不思議百科」, コロナ社, (26)和田要, ポピュラーサイエンスシリーズ 85「現代を演出する素材スチールの科学」, コロナ社 (27)高橋安人, 「システムと制御(上, 下)」, 「デジタル制御」, 岩波書店, (28)高橋安人編著, テクノライフ選書「神々のたそが

れ(日米の戦後 50 年)」、オーム社、(29)古田勝久・佐野昭、大学講義シリーズ「基礎システム理論」、コロナ社、古田勝久現代制御シリーズ 5「デジタルコントロール」、コロナ社、(30)寺野寿郎、浅居喜代治、菅野道夫共編、「ファジィシステム入門」、「応用ファジィシステム入門」、オーム社、(31)菅野道夫、「ファジィ制御」、日刊工業新聞社、(32)安居院猛、長橋宏、高橋裕樹、「ニューラルプログラム」、昭晃堂、(33)森政弘、「ロボコン博士のもの作り遊論」、オーム社、(34)岩波講座「情報科学(全 24 巻)」、岩波書店、(35)岩波講座「マイクロエレクトロニクス(全 11 巻)」、岩波書店、(36)岩波講座「ソフトウェア科学(全 17 巻)」、岩波書店、(37)石田晴久、岩波コンピュータサイエンスシリーズ「Cプログラミング」、岩波書店 を挙げる。(13)は、理学、工学、技学の本質を解明し、理工学関係者の独創的思考力の増進を目的として書かれている。(14)は、熱流体力学の第一人者による、熱力学、流れと伝熱とのかかわり、熱工学、熱機関の解説書である。(15)は、工業熱力学の自習に適している。(16)は、熱流体力学の第一人者による、熱と流れの数値計算プログラムの解説書(フロッピーディスク付)である。(17)は、熱流体の分子動力学の解説書(フロッピーディスク付)である。(18)は、計算力学の第一人者が、有限要素法の基礎と応用を説明している。(19)は、流体力学の第一人者が、理論の基礎から最近の乱流研究、数値シミュレーション迄、物理的にも、数学的にも広い識見と深い洞察で説明している。さらに、流体力学を築いた人々について写真入りのすばらしい解説があり、それだけでも購入する価値がある。本書にて 1993 年度土木学会出版文化賞受賞。(20)は、Ludwig Prandtl と共に近代流体力学を築いた学者による啓蒙書である。(21)は、航空の歴史、設計、発想についての考察、解説およびドイツ他を旅行した際の道具と心についてのエッセイで、優れた啓蒙書である。(22)は、弾性論の基礎から有限要素法迄、固体力学の物理的意味を中心に書かれてあり貴重である。(23)は、塑性力学の基礎を詳細に説明してあり、教科書として使われている。(24)は、有限要素法

を日本に導入した学者等による、弾性力学、塑性力学、機械力学、熱流体力学、構造工学の有限要素法解析であり、同手法をマスターするのに適している。(25)は、塑性加工によるもの作りを易しく解説している。(26)は、製鐵会社の研究者から高専の教官へ転身した著者が、スチールの科学についてイラスト、写真を用いて易しく解説している。(27)は、日本における制御工学の草分けである著者が、現代制御理論とデジタル制御について丁寧な説明され応用例も豊富で分かり易い。制御工学の研究者にとって必読の書である。(28)は、制御の歴史、日米の戦後 50 年の技術、社会についての解説、(29)は、制御理論の第一人者が、現代制御理論、カルマンフィルタ、ロバスト制御理論(H ∞ 制御)について線形システムとして一貫して解説している。(30)は、各々、ファジィ理論と工業、ビジネスへの応用例を解説した入門書である。(31)は、ファジィ理論の第一人者による理論と制御についての解説書である。(32)は、ニューラルネットワークスの基礎とプログラムリストが掲載されていて応用に便利である。(33)は、制御工学、システム工学の専門家でもロボコン提唱者が、もの作りと研究のこころ構えを分かり易く解説していて、ロボコン愛好者以外にも必読の書である。(34)は、現代の技術者、研究者にとって必読の書である。特に、「情報科学の歩み」の著者：高橋秀俊先生は、後藤英一先生と共に、初期のコンピュータパラメロン計算機を開発され、その後も情報科学のあらゆる面にわたって広い見識と鋭い洞察力をもって活躍されてきた。本書は、情報科学という学問の基本的な問題意識、課題およびその全体像が描き出されている格好の読み物である。(35)は、マイクロコンピュータのハードウェア、ソフトウェア、VLSI の設計、メカトロニクス等の基礎を説明している。(36)は、ソフトウェア科学の全体像を理解しやすい形に体系化している。(37)は、Cプログラミングの基本から実行環境の UNIX システム迄解説しい。

3. 産学連携に関する本

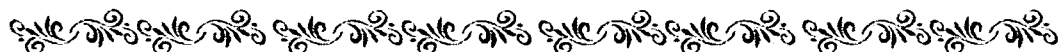
(38)大学の研究教育を考える会編、「産学連携とそ

の将来」, 丸善がある。大学と産学連携について、産・学の広い立場から、大学改革と産学連携の在り方について多面的に論じている。

4. 授業・卒業研究で使用している本

(39) 寺野寿郎, 「システム工学入門」, 共立出版, (40) 坂村健, 「痛快! コンピュータ学」, 集英社インターナショナル, (41) 砂田利一, 「チャート式数学Ⅲ」他, 数研出版, (42) 菅野道夫, ビジネスマンのための「ファジィ読本」, サイエンス社, (43) 甘利俊一, 読売科学選書 37 「ニューロコンピュータ」, 読売新聞社である。(44) 岩波講座「現代工学の基礎(全 16 巻)」, 岩波書店である。(39)は、日本における制御工学、システム工学、ファジィ制御の草分けで第一人者の著者が、システム工学と応用、特にあいまい問題への挑戦について解説

している。システム工学は、生産管理の理論的基礎になっている。(40)は、TRONプロジェクトのリーダーとして、まったく新しい概念によるコンピュータ体系を構築して世界の注目を集めた著者が、分かり易く解説している。(41)は、1940年代から発行されている代表的な高校数学の参考書であり、チャート式の要点、多くの例題と入試問題が掲載されている。(42)は、ファジィ理論と応用についての入門書。(43)は、ニューラルネットワークの権威による理論とコンピュータについての入門書である。(44)は、現代工学の全分野について解説していて、基礎を学ぶのに適している。現在、鈴木篤之・元田浩, 第12巻「システム的设计・運用・評価」, 木村文彦, 第13巻「製造システム」を授業、卒業研究の参考書として使用している。



感想文コンクールのお知らせ

読書の秋と呼ばれる季節になりました。少し前に読んだ本、忘れられない本、感動をくれた本、賢さを教えてくれたあの本・・・。

素敵な本、良い本をご紹介下さい。

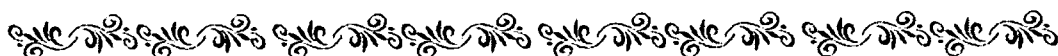
- (1) 内容など 読書感想文、本の紹介、本に対する評論文、
できれば1600字程度にまとめて下さい(最大2000字)
- (2) 募集部門 低学年の部(1~3年) 高学年の部(4, 5年生)
応募数により変更する場合があります。
- (3) 提出期限 平成14年 11月29日(金)まで
- (4) 賞品 優秀作品には図書券を贈ります。
- (5) 提出方法 電子化して提出して下さい。

電子メール tosyo@fukushima-nct.ac.jp

作品は メール(テキスト)で提出して下さい。

フロッピーの場合は、図書館事務室に提出して下さい。

優秀作品は2月発行のビブリアに掲載します。



図書館で本を探そう



図書館で必要な本を見つける方法、あなたはどの方法を使いますか？

1. 友達や先輩（人）に教えてもらう。
2. 検索性 PC を使って探す。
3. ラベルを頼りにその本の周辺を探す。
4. カウンターで聞いてみる。
5. 先生に頼んでみる。
6. あきらめる。



1を選んだ人 必要な時に必要な本をしかも場所まで友達から教えてもらえるあなたはラッキーな人です。必要な情報を探し出せる能力はとても大切です。あなたは人とのコミュニケーションによって、本を探し出せる能力を持った人です。

2を選んだ人 なんて冷静な人でしょう。図書館のルールを知ってますね。検索性 PC を更新した甲斐があったというものです。蔵書に関しては図書館のホームページからも検索ができます。

情報センターから図書館の蔵書検索ができるというわけです。

3を選んだ人 もしかして、本が好きなのですか？ なるほど、そういう方法もありました。図書のラベル番号は、分野ごとに分類されていますから、書庫で本のタイトルを見ながら探すこともできますね。

4を選んだ人 おそらく、検索性 PC の使い方を教えてもらえるでしょう。もしかしたら、この本が・・・と最適な一冊を探し出してくれるサポートが・・・。

5を選んだ人 手堅い、堅実な人、しっかり者かもしれません。ちゃっかりしてるとも・・・。確実に必要とする本にたどり着けることでしょう。これも、こっちも良い本だとたくさん紹介してもらえるかもしれません。

6を選んだ人 情報源をたくさん持っているとは思いますが、情報の正確さを確かめるためにも、本で調べてみて下さい。まず、ネットで？ ノートのコピー取らせてもらう？？

いろいろな方法がありますが、図書館で本を探す時、最後はラベルの番号やタイトルが頼りに探すことになります。本の位置がめたくちゃになっていると、目的の本を見つけることはできません。本の位置にも意味があることを忘れないで下さい。

図書館にない場合、他の図書館から借用することもできます。

必要な本は購入します。

リクエストボックスで書名などをお知らせ下さい。

(書名、著者、出版社です)

図書館運営委員会(平成 14 年度)

委員長 (図書館長) 内山昭代

一般教科 新井 広、 機械工学科 一色誠太
 電気工学科 伊藤 淳、 物質工学科 内田修司(副館長)
 建設環境工学科 森田年一、 コミュニケーション情報学科 布施雅彦
 庶務課長 戸枝俊郎、 図書係長 磯目明弘

学生図書委員名簿

	機械工学科	電気工学科	物質工学科	建設環境工学科	コミュニケーション 情報学科
1 年	金井剛紀 片寄健二	樋田雄士 吉田藤茂	佐藤令奈 若狭睦美	鈴木幹奈 山元未来	国分 唯 鈴木あゆみ
2 年	国井一寿 紺野聖二	二瓶修一 野木一央	伊藤健太郎 根本奈都子	平澤紘史 若林祐樹	青砥美和 大平友加里
3 年	緒方順一 増子将弘	伊藤詞子 佐藤恵子	金子由香利 田村夏樹	相川なつみ 今川智弘	青木民部 榭沼 守
4 年	大竹伸幸 加藤久幸	山ノ内暁人 水野壮健	先崎健二 松本 桂	鈴木美穂 高井玲子	草野 彩 村上律子
5 年	森戸貴之 二本松 聡	丹野拓海 坂本龍一	吉田篤史 浜井祐介	国井香織 戸田久美恵	高橋宏幸 吉村朋恵

……編集後記……

発行が大幅に遅れてしまいました。原稿をお寄せ下さった皆様にお詫びしなければなりません。早く読みたいと思っていた皆様にもお詫びします。

次号は今年度中に発行する予定です。明日から作業に掛かります。原稿の依頼が届きましたら、ご快諾頂き、締め切りまでに入稿いただけると、助かります。ありがたいです。(いち)

・早く帰りたいと思っていると、保存する前にワードが勝手にメモリが足りないとか表示して、原稿を飛ばしてくれました。(は)

・次号は、新任の先生が勧める本(第2段)と感想文コンクールの優秀作品、卒業生が勧める本という構成で3月配布予定です。(し)

・学生会誌「ひびき」について、情報をお持ちの方は図書館までお寄せ下さい。1, 3, 4号までは発見しました。学生会の会誌はいつ頃まで続いたのでしょうか。

・いろいろなどころで配慮が足りない(行き届かない)ところがありましたことをお詫びいたします。今年のキーワードは「お詫び」「謝罪」。新聞に謝罪欄ができたのには、びっくりしました。流行語大賞?でしょうか。